

発行：社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会  
問合せ：ボランティア活動振興センター 地域福祉情報バンク  
川崎市中原区上小田中6-22-5 川崎市総合福祉センター 6階  
電話：044-739-8720 / Email：jyoho@csw-kawasaki.or.jp

## 2024年秋号の内容は…

- ★「チャレボラ2024」を開催しました！
- ★「吃音（きつおん）」に関する図書の紹介
- ★知っていますか？「終活」のこと
- ★新着図書の紹介、「赤い羽根共同募金」が始まりました！



## 「チャレボラ2024」を開催しました！

「チャレボラ」とは、「夏休み福祉・チャレンジボランティア体験学習」の略称です。地域の福祉やボランティアに関心をもってもらうことを目的として始まり、今年で18年目となります。

子どもや高齢の方・障がいのある方とのふれあい、災害ボランティア体験、地域イベントのお手伝いなど、川崎市内で59のプログラムを用意しました。参加者は小学生から大学生まで、合計291名。オリエンテーションで「ボランティア」や「福祉」について学び、その後、自ら選択したプログラムを体験しました。

市内各地で行われたプログラムの一部をご紹介します。

### 子どもに関するボランティア

地域子育て支援センター、保育園、こども文化センター、わくわくプラザ、こども食堂などで開催。

幸区のプログラムでは、地域子育て支援センターに来所された親子と交流し、子どもたちと一緒に遊んだり、支援センターを開所するための準備やおもちゃの消毒など、運営側のお手伝いも体験しました。



チャレボラは来年も開催！  
みんな参加してね

### 災害に関するボランティア

高津区のプログラムでは、起震車や煙体験ハウスなどで災害時を体験。実際に消火器やAEDの使い方を学んだり、非常食の試食体験や被災時のトイレについての講義などもあり、様々なことを学ぶことができました。



消火器体験



非常食の試食

### 高齢者に関するボランティア

特別養護老人ホーム、デイサービス、老人福祉センター、老人いこいの家などで開催。

多摩区のプログラムでは、車いす体験と高齢者疑似体験を通して高齢者の気持ちや対応方法を学んだ後、特別養護老人ホームに行き、実際に施設のお手伝いをしたり、高齢者の方との交流を体験しました。



車いす&高齢者疑似体験



### 他にも様々なボランティアがありました



セミのぬけがら調査



ばらの手入れと花壇の花から摘み



親子で手話体験



障害のある方とボッチャで交流



きつおん  
「吃音」に関する図書の紹介



～地域福祉情報バンクで貸出しています～

「吃音（きつおん）」とは、話し言葉が滑らかに出不い発話障害のひとつです。言葉の最初の文字を何度も繰り返す「連発」、最初の言葉を引き伸ばす「伸発」、言葉が出るのに時間がかかる「難発」があります。

日本には120万人（約100人に1人）いると言われてはいますが、社会の中で「吃音」に対する理解が広がっておらずその話し方の特徴から、からかひやいじめの対象となってしまうことが少なくありません。

学校の教師をはじめ、周囲の人が正しい知識に基づいた行動をとることで、吃音者を取り巻く環境は大きく変わっていきます。

「吃音」を理解し、適切なサポートができるようになるために、まずは吃音者の心情や日本の現状を知ることから始めてみませんか？

吃音 伝えられないもどかしさ

頭の中に伝えたい言葉がはっきりとあるのに、相手に伝える前に詰まってしまう。店での注文や電話の着信に怯え、伝達コミュニケーションがうまくいかないことで、時に自殺にまで追い込まれることもある。

自らも吃音に悩んだ著者が、丹念に当事者たちの現実に迫るノンフィクション。

（近藤雄生:著／新潮社／2019年発行）



動画もおすすめ！  
「注文に時間がかかるカフェ」で検索！

注文に時間がかかるカフェ

人と話したいけど言葉がうまく出てこない…そんな悩みを抱えた若者たちが、吃音に理解のある環境での1日限定カフェを始めた。発起人は、自身も吃音症でかつて夢をあきらめていた奥村安莉沙さん。誰もが、自分らしく社会に一步を踏み出せるよう、斬新な試みを成功させている話題のプロジェクトを紹介。

「こんな接客があってもいい」と思える温かな物語。  
（大平一枝:著／ポプラ社／2024年発行）



吃音のある子どもと家族の支援

暮らしから社会へつなげるために

科学的な吃音の基礎知識、陥りがちなNG対応例や、本人の意識の持ち方、周囲への理解、啓発の働きかけ方などを丁寧に解説。

吃音の研究と支援に情熱を注ぐ専門家2氏による好著。

（堅田利明・菊池良和:著／学苑社／2020年発行）



どもる体

吃音とは言葉が肉体に拒否されている状態である。しかし、なぜ歌っているときにはどもらないのか？なぜ独り言だとどもらないのか？

従来の医学的・心理的アプローチとはまったく違う視点から、徹底した観察とインタビューで吃音という「謎」に迫った画期的身体論！

（伊藤亜紗:著／医学書院／2018年発行）



僕は上手にしゃべれない

小学生の頃から吃音に悩んできた少年が中学生になり、思い切って放送部に入部。周囲の人に助けられ、途中くじけながらも少しずつ変わっていく姿を描く。吃音に悩み、立ち向かった少年の葛藤と成長の物語。

（椎野直弥:著／ポプラ社／2017年発行）



関連図書

- 吃音の世界（菊池良和:著／光文社新書／2019年発行）
- きつおんガール（小乃おの:著／合同出版／2020年発行）





# 知っていますか？「終活」のこと



川崎市社会福祉協議会では令和4年度から、市民の皆さんの終活に関する相談や個別支援を行う終活支援担当を設置しており、終活に関する相談はもちろん「終活セミナー」「終活出前講座」「個別の終活支援（川崎市 未来あんしんサポート事業）」などを行っています。

終活支援担当の3つの柱について、担当の菅課長に伺いました。

エンディングノートは市内の各社会福祉協議会で配布しています。



## 終活セミナーとは？

市民の皆さんに、終活に関する知識を深めてもらうため「終活セミナー」を開催しています。終活全般に関するセミナーと、エンディングノートに関するセミナーを行っており、今年度は11月以降に市内各地で開催予定です。ぜひご参加ください！

- 「遺言と死後事務 ～遺言でできることできないこと～」  
11/26 (火) 14:00～ ミューザ川崎  
11/27 (水) 14:00～ てくのかわさき
- 「エンディングノートと最新の埋葬事情」  
12月以降、各区の老人福祉センター等で開催。  
詳しい日程はHPでご確認ください。



私もエンディングノートを書いてみようかしら



## 終活出前講座とは？

終活について聞きたいことがある団体やグループに対して出前講座を行っています。昨年度は、地区社協や地域包括支援センター、老人いこいの家などからの依頼を受けて19回実施しました。

講座内容は、依頼者の要望に合わせて相談しながら決めていきます。老後や終活についての不安を解消するために、一緒に学んでみませんか？

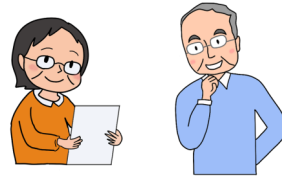
## 「川崎市 未来あんしんサポート事業」とは？

葬儀・埋葬などを行える親族がいない高齢者の方に対し、人生の最後を安心して過ごせるよう支援する事業です。具体的な内容は

- 生前の見守り（電話や訪問による定期的な確認）
- 公正証書遺言の作成支援・遺言執行
- 逝去後の葬儀・埋葬、各種届け出などの死後事務など

現在は70～80代の方16名が契約されています。身寄りがなく自分の死後に不安があった方も、遺言書作成や死後に必要となる事務手続きを済ませたことで、安心して暮らせるようになっています。

利用には、市内在住で原則65才以上などの条件があり、川崎市社会福祉協議会と契約の上、入会金や年会費、預託金等が必要となりますので、パンフレットをご確認ください。直接話を聞いてみたい方は、お気軽にご相談ください。



川崎市社協のHPからもダウンロードできます。

このページに関するお問い合わせは…

## 川崎市社会福祉協議会 川崎市あんしんセンター 終活支援担当

〒211-0053 川崎市中原区上小田中6-22-5 川崎市総合福祉センター6階

TEL : 044-712-3372

MAIL : syu-katsu@csw-kawasaki.or.jp





# 新着図書を紹介

蔵書検索は『ふくみみ』で！  
<https://k-fukumimi.com/>



## 【図書】（書名／著者・編者名／出版社）

- 世界と比べてわかる 日本の貧困のリアル／石井光太／PHP研究所
- 東京のど真ん中で、生活保護JKだった話／五十嵐タネコ／KADOKAWA
- 学校では教えてくれない 生活保護／雨宮処凛／河出書房新社
- マンガでカンタン！ 社会保障で得するお金は7日間でわかります。／井戸美枝・モチコ／Gakken
- いのちの声 八鳥治久に伴走した日々／藤原瑠美／論創社
- 介護現場歴20年。／安藤なつ／主婦と生活社
- 実録ルポ 介護の裏／甚野博則／文藝春秋
- 体験格差／今井悠介／講談社
- 死なないノウハウ 独り身の「金欠」から「散骨」まで／雨宮処凛／光文社
- 子どもを育てられない親たち／草薙厚子／イーストプレス
- 歪んだ幸せを求める人たち ケーキの切れない非行少年たち3／宮口幸治／新潮社
- 幼稚園や学校で話せない子どものための 場面緘黙支援入門／園山繁樹／学苑社
- 知的障害と発達障害の子どもたち／本田秀夫／SBクリエイティブ



- 「不安症」でもだいじょうぶ／原井宏明・松浦文香／さくら舎
- 飛び出せナース！／亀井紗織／幻冬舎
- 復職後再発率ゼロの心療内科の先生に「薬に頼らず、うつを治す方法」を聞いてみました／亀廣聡・夏川立也／日本実業出版社
- わたしが「わたし」を助けに行こう 自分を救う心理学／橋本翔太／サンマーク出版
- こんな世の中に誰がした？ ごめんなさいと言わなくてもすむ社会を手渡すために／上野千鶴子／光文社
- 国道沿いで、だいじょうぶ100回／岸田奈美／小学館
- 燕は戻ってこない（文庫版）／桐野夏生／集英社
- 知っておけば怖くない ファシリテーション超入門／竹本記子／メイツ出版
- 失敗しないデザイン／平本久美子／翔泳社
- おかたいデザイン／平本久美子／翔泳社
- 捨てられた僕と母猫と奇跡／船ヶ山哲／プレジデント社
- 株式会社ウチらめっちゃ細かいんで／佐藤啓／あさ出版
- アーモンド（文庫版）／ソン・ウォンピョン／祥伝社
- ツミデミック／一穂ミチ／光文社
- リエゾン こどものこころ診療所（17）／ヨンチャン・竹村優作／講談社



## 「赤い羽根共同募金」が始まりました！

令和6年10月1日～  
令和7年3月31日

### 赤い羽根共同募金とは…

1947年に「国民助け合い運動」の一環として始まり、今年で78回目となります。

「地域福祉の推進」を目的として都道府県ごとに募金が行われており、募金の約7割は募金をいただいた地域で使われ、残りの3割は市区町村を超えた広域的な課題を解決するための活動に都道府県の範囲内で使われます。

ご協力よろしく  
お願いします



### 使いみちは…

子どもたち、高齢者、障がい者などを支援する福祉活動や、災害時支援などに役立てられています。

例えば、高齢者の配食サービス、障害者スポーツ、こども食堂への支援など多岐にわたる活動に助成されています。詳しくは、赤い羽根データベース「はねっと」で公開しています。

はねっと 検索



### 災害等準備金とは…

ご寄付いただいている赤い羽根共同募金から、決まったお金を災害に備えて積み立てています。災害が起きた時には、被災地の災害ボランティアセンターの設置や運営などの支援に使われます。

今年のコラボピンバッジはこちら！



野毛山動物園  
ホンドタヌキ



川崎フロンターレ

地域福祉情報バンクは平日8:30から17:00まで開所しています。毎月第4水曜日は、川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）の保守点検日のため、17:00以降に1階受付窓口での図書・DVDの返却ができませんのでご注意ください。また、**12月29日（日）～1月3日（金）**の間は、年末年始休館日のため、全館休館となります。

